

ガイドボランティア活動記録 (令和2年)

大矢祐一郎・高井敦雄

当園では平成13年3月24日から大温室などの温室植物を中心としたガイドボランティアを導入し、令和2年12月現在57名が活動中である。前号(第41号)に続いて、その後の活動や進展について報告する。導入の経緯については平成13年度栽培記録(第23号)に記している。

ガイド活動と新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響

定期ガイドとして屋内施設の大温室・ベゴニア温室・フクシア温室などと、屋外施設の花の進化園・ロックガーデンのガイドを毎週土・日曜日と祝日に行った。また、季節に応じてサクラ・バラ・ハナショウブ・アジサイ・カエデなどを案内した。このほかに申込ガイドとして、学校の自然体験学習や子供会活動、福祉施設などが募集したサークルなどを案内している。令和2年は合計で11,470人をガイドした(表1)。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令

和2年3月から5月までの期間および12月12日以降のガイド活動を中止した(表1)。6月以降定期ガイドは再開したが、団体での来園が予想される申込ガイドは、少人数での試験的な受け入れを除き原則として受け入れを停止した。ガイド活動再開後も、来園者と一定の距離を保ち、解説は少人数に限って実施するようにした。団体での来園が予想される申込ガイドについては原則として受付を停止した。

例会と研修

活動の報告・協議及び植物の学習・研修を行う例会を、偶数月の土曜日または日曜日の午前10時から11時30分まで6回開催した(表2)。例会の際に研修として、職員等が植物に関する話題提供を約1時間行った。手指消毒、換気、対人距離の確保などの感染症対策を行ったうえで開催した。

自主活動

【ジュニアプロジェクト】

小学生向けの自然遊び体験「ジュニアプロジェクト」を毎月第2日曜日、午前と午後の2回開催した。また、団体の申込による臨時開催も行った。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、4月から6月は定期開催・臨時開催ともに中止とした。再開後は定員を先着30名に限定して実施した。プログラムは

表1 定期ガイド・申込ガイド実績表

年/月	定 期 ガ イ ド ※1								申 込 ガ イ ド ※2		合 計
	日数(日)	温 室			屋 外			計	件 数	人 数	
		ベゴニア温室	大温室 ※3	フクシア温室 ※1	花の進化園	ロックガーデン	その他 ※4				
平成31年(令和元年)4月~12月小計	85	1,813	3,549	1,935	1,439	837	3,677	13,250	21	1,135	14,385
令和2年1月	7	149	285	223	76	80	71	884	0	0	884
2月	11	335	658	270	190	202	10	1,665	2	37	1,702
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成31年度合計	103	2,297	4,492	2,428	1,705	1,119	3,758	15,799	2	1,172	16,971
令和2年4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	7	108	303	254	136	90	199	1,090	0	0	1,090
7月	7	113	348	314	123	81	0	979	0	0	979
8月	10	159	265	312	166	81	175	1,158	0	0	1,158
9月	10	130	572	383	186	130	200	1,601	0	0	1,601
10月	9	252	706	297	264	179	75	1,773	1	11	1,784
11月	11	202	535	409	225	171	487	2,029	0	0	2,029
12月	2	60	80	66	31	6	0	243	0	0	243
令和2年合計	74	1,508	3,752	2,528	1,397	1,020	1,217	11,422	3	48	11,470
令和2年度小計	56	1,024	2,809	2,035	1,131	738	1,136	8,873	1	11	8,884

平成31(令和元)年の4~12月の詳細は前号(栽培記録第41号)に記したので省略した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、3月から5月、12月はガイド活動を中止した。また、申込ガイドは原則として受付を停止した。

※1 定期ガイド：土・日の午後と祝日に実施したガイド。

※2 申込ガイド：団体から申し込みのあったガイド。 ※3 大温室は熱帯スイレン温室を、フクシア温室はサボテン温室を含む。

※4 その他：サクラ、バラ、ハナショウブなど特定の時期の植物案内と夜間開園ガイド、オオオニバス試乗体験会補助の合計。

表2 例会・研修及び自主活動

開催日	場所	例会及び研修内容	参加者数
平成31年(令和元年)(4月～12月)小計 (内容は植物公園栽培記録第41号に記載)			281
	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び研修 「竹と笹の話」 講師:企画広報係 田川朋男主任技師	38
平成31年度合計			319
4月4日(土)、11日(土)※	植物公園内	桜と光のタペ	—
4月5日(日)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)	39
4月5日(日)※	植物公園講堂	5月4日販売用リース作成	—
5月4日(月・祝)※	植物公園内	みどりの日・植物公園の日イベント (リース、苔玉等販売、クラフト作り)	—
5月9日(土)～ 5月24日(日)※	バラ園	ローズガイド	—
6月6日(土)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び研修 「花の進化園について」 講師:第2栽培・展示係 山本昌生現培展示管理員	51
8月2日(日)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び研修 「里山の野草園について」 講師:第2栽培・展示係 山本晃弘 技師	38
8月12日(水)、15日(土)、16日(日)、18日(火)	熟帯スイレン温室等	オオオニバス試乗体験会に伴う列整理及び待合者への解説	2
8月29日(土)、30日(日)、 9月5日(土)、6日(日)、 12日(土)、13日(日)	植物公園内	夜間開園、花と光のページェント	8
10月10日(土)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び研修 「きのこと植物の切っても切れない関係」 講師:井本敏和氏(広島きのこ同好会)	40
10月10日(土)	植物公園講堂	11月3日販売用リース作成	3
10月25日(日)	植物公園内	秋のグリーンフェア(ジュニアプロジェクト)	6
11月2日(土)～	バラ園	ローズガイド	6
11月3日(日)	植物公園内	リース等販売・クラフトコーナー	10
12月6日(日)	植物公園講堂	例会(挨拶、連絡事項と報告)及び研修 「バラについて」 講師:第2栽培・展示係 泉川康弘 技師	38
令和2年度(4月～12月)小計			241
令和2年(1月～12月)の合計			279

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止となった。

表3 ジュニアプロジェクト実績表

開催日	内 容	参加者数	指 導 者
4月12日	—	—	—
5月10日	—	—	—
6月14日	—	—	—
7月12日	【定期】カモフラージュ、カメレオンゲーム	28	金山、北野(孝)、北野(和)、一橋、長田
8月4日	【臨時:西条みづき認定こども園】カモフラージュ、カメレオンゲーム	111	金山、北本、北野(孝)、北野(和)、原田、平田、長田、若宮
8月9日	【定期】カモフラージュ、カメレオンゲーム	24	金山、北野(孝)、北野(和)、原田、一橋、平田、長田、若宮
8月9日	【臨時:親子植物体験教室】カモフラージュ、カメレオンゲーム	24	金山、北本、北野(孝)、北野(和)、原田、平田、長田、若宮
9月13日	【定期】カモフラージュ、カメレオンゲーム	41	北本、北野(孝)、北野(和)、一橋、平田、長田
10月11日	【定期】カモフラージュ、カメレオンゲーム	50	金山、北野(孝)、北野(和)、一橋、平田、長田
10月25日	【臨時:グリーンフェア】カモフラージュ、カメレオンゲーム	83	金山、北本、北野(孝)、北野(和)、一橋、若宮
11月8日	【定期】カモフラージュ、カメレオンゲーム	57	金山、平田
11月17日	【臨時:彩が丘小学校】カメレオンゲーム	38	金山、北野(孝)、一橋、平田
12月12日	—	—	—
令和2年(1月～12月)合計		456	

※4～6月及び12月のジュニアプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止した。

密集・密接を避けられる「カメレオンゲーム」と「カモフラージュ」のみ実施した。参加者は合計 456 名であった(表3)。

【リースの販売・クラフトづくりの指導】

11月3日の開園記念日にはガイドボランティアコーナーを設け、手作りリース販売やクラフトづくりの指導を行った。収益は備品の購入(APG対応の図鑑等)や消耗品の購入などに当てる予定である(現在調整中)。

園から依頼した活動

【親子植物体験教室】

8月の親子植物体験教室で大温室や屋外の植物観察、ジュニアプロジェクトを行った。

【オオオニバス試乗体験会】

オオオニバス試乗体験会は8月12日(水)、15日(土)、16日(日)、18日(火)に行った。試乗前の各参加者に対し、オオオニバスの解説を行った。

【夜間ガイド】

8月・9月の夜間開園時には、夜に開花する植物などを案内した。例年、春と冬の夜間開園の際も夜間ガイドを行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、春の夜間開園は中止となったため、また、冬の夜間開園は感染拡大防止のため、それぞれ夜間ガイドは実施しなかった。

組織の運営

運営を円滑に行うため、ボランティア全体を8班

に分け、各班から当番表作成や例会議事録作成など運営に関する作業に携わる人(リーダー)を選出し、各班のリーダーと植物公園事務局で調整しながら運営してきた。リーダーの任期は4か月とし、奇数班と偶数班の任期を2か月間ずらして新旧のリーダーの担当期間を重複させ、引継を行いやすくしている。イベント時に行っている苔玉・リース販売などは、中心になる人が責任者となり準備運営を自主的に行った。

終わりに

令和2年は新型コロナウイルス感染症が世界的に拡がり、当園もイベントの中止や規模縮小、臨時休園などの影響を受けた。そのような状況下において、ガイド活動は来園者と直接触れ合い、至近距離で解説を行うため感染リスクが高いと考えられ、実際に

ガイド活動を自粛されるボランティアの方も見られた。緊急事態宣言解除後は定期ガイドを再開したが、マスクの着用や対人距離の確保など基本的な感染症対策を徹底したうえでの再開とした。幸い、本稿執筆時までにはガイドボランティア関係者からの新型コロナウイルス感染者の発生は確認されなかった。申込ガイドに関しては、園内でガイドツアーを行う際の制限人数等についての指針が策定されたため、それを基準に、感染拡大の状況を踏まえて再開の可否について検討を行いたい。

ガイドボランティア制度は園内の見頃の植物を来園者に解説し、来園者に一層の満足を提供するものであるとともに、ボランティア参加者にとっての社会参画の場でもある。引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、ガイドボランティア活動が安全に実施していけるよう努めたい。

令和2年度植物友の会活動記録

久保晴盛・高井敦雄

はじめに

植物友の会は、植物に興味を持つ一般から募集した人達の集まりで、植物公園を活動の場として植物愛好者が集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に、昭和54年10月に設立された会である。

令和3年1月現在、会員数は個人会員が71(△36)人、家族会員が16組32人(4)の計103名である。()内は昨年度同月からの増減会員数、△は減。

会費制度の見直しについて

ここ数年の間に植物友の会は、会員数の減少および会員の固定化・高齢化が著しく進み、会全体として積極的な活動を実施することが難しい状態が続いていた。その一因として、会費制度の問題があり、新規入会の障壁となっていた。そこで、令和2年度から年会費を無料化し、従来通り会報などの郵送を希望される方に郵送費を実費負担する形に制度を見直した。その結果、今年度は38名の新規入会があった

ものの、コロナ禍で更新時期に臨時休園していたことも影響し、会員数は32名減少した。また、会員の平均年齢は71.9歳から69.5歳へと若干ではあるが、若返った。

活動

植物友の会では、年6回の例会、年3回の野外観察会、会誌「はなの輪」の発行などを主な活動として行っている。また、園内ボランティア(友の会ボランティア)、部会活動(植物同好会)などは通年で活動している。

(1) 例会(表1)

2か月に1回の定例会を展示資料館2階講堂で行っている。季節の園芸作業、植物に関する講話や園内の植物ガイドなどを職員が持ち回りで行った。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休園により、第1回・第5回例会は中止となった。また、密を避けるため、園内の植物観察は行わず、スライドで解説する形で対応した。例会の前には運営委員会を開催し、友の会の活動方針などを随時協議した。

(2) 観察会(表2)

新型コロナウイルス感染症の影響で当初予定の観察会は全て中止とした。バスを借上げて移動することが当面困難なため、代替として、公共交通機関で移動できる近場かつ外部講師を招聘しない形で実施